

## 第5回麻生区区民会議

1 開催日時 平成21年5月29日（金）午後3時1分～午後4時56分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

天野委員、飯塚委員、伊藤委員、碓井委員、梶委員、神本委員、鴨志田委員、小坊委員、菅原委員、谷川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、矢野委員、山崎委員、渡邊委員

（欠席）市川委員、尾中委員、下八川委員、寺川委員

[参与]

雨笠参与、伊藤参与、勝又参与、山崎参与

（欠席）尾作参与、花輪参与、山口参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

磯野区長、板橋副区長、向坂総務課長、荻原企画課長、入口地域振興課長、阿部企画課主査

4 次第

(1) 開会

(2) 議事

調査審議課題について

ア 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について

イ 環境部会の検討経過報告及び意見交換について

(3) その他

ア 第6回区民会議の開催日程について

イ 参与助言

ウ 区民会議交流会について

(4) 閉会

### 【配布資料一覧】

「次第」

資料1 課題解決のための調査・検討シート ～地域交流部会～

資料2 「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小学生の絵画展示実施報告

資料3 「 」の開催に伴う美化清掃活動実施報告

資料4 地域交流部会「市民活動の推進」の取組（案）

資料5 「あいさつが交し合える地域づくり事業」の事例集（手引書）の作成について（報告）

資料6 課題解決のための調査・検討シート ～環境部会～

- 資料7 生ごみのリサイクル・地産地消の取組に関する打合せ結果（概要）
- 資料8 「環境家計簿」の取組に関する打合せ結果（概要）
- 資料9 「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」開催（案）
- 資料10 「麻生区エコカルテ」作成について（案）

## 第5回麻生区区民会議

日 時 平成21年5月29日（金）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時01分開会

### 1 開 会

西谷委員長 それでは、ただいまより第5回麻生区区民会議を開会させていただきます。

皆さん、こんにちは。雨の中、お忙しいところご足労いただきまして、ありがとうございます。

早いもので、この区民会議が発足しまして3年、今期が始まりまして1年経過いたしました。各専門部会とも精力的に活動に取り組んでいただきまして、本当にありがとうございます。今回は多分成果が出るのではないかと期待しております。きょうもそれらについてご審議いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

このたび、4月1日付で麻生区役所の人事異動がありました。新たに磯野区長、板橋副区長、入口地域振興課長が着任されましたので、ごあいさつをいただきたいと思えます。板橋副区長はほかの会議に出席されておりますので、きょうは遅れて参加ということですので、磯野区長、入口地域振興課長からごあいさつをお願いいたします。

区長 皆さん、こんにちは。麻生区長の磯野でございます。この4月に麻生区に参りました。どうぞよろしくお願いいたします。

この区民会議につきましては、私も平成17年、18年の2年間、麻生区におりまして、かかわらせていただきました。17年は区民会議のモデル実施ということで1年間取り組みました。そして、18年に第1期がスタートしたわけでありましてけれども、それからちょうど4年目になりました。先般、担当課長のほうから、区民会議の状況はどうかということをお聞きしましたら、書類を見ましても、またお話を聞かしても、会議のテーマの設定、あるいはそれぞれの部会の取組が非常に明確になってきておりまして、大変心強いものを感じた次第であります。今後におきましても、地域の課題を解決していく、また、区政を推進していく上で、ひとつ皆様方のお力を大いにおかりしたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。

事務局 こんにちは。初めまして。4月に幸区役所の保険年金課から来ました入口と申します。実は麻生区は幸区に行く前の6年ぐらいですか、こちらのほうで、ほかの部署ですけれども、仕事をしていまして、麻生区は非常になじみの深い、それから、知り合いの多い区でございます。そういう後ろ盾がありますので、私、地域振興課長とし

て戻りましたけれども、非常に知り合いが多過ぎて、逆に悪いことはできないなという気がしています。そういうことで、なかなか縁が切れなかったのと、私自身がボランティアの関係で、麻生区には体験農業という事業がありますけれども、それに6、7年かかわっていました。それと、市民健康の森という、多摩美にありますけれども、会員になりまして、そちらのほうにも時々顔出しをしていました。そんな関係がありまして、麻生区は非常に懐かしいといえますか、仕事がしやすいと思っています。

地域振興課長ということなので、今度は立場が変わりました。確かに地域振興課というのは、いろいろな団体とかかわりを持たなければいけない、非常に大事な部署だと思っています。一言で言いまして、町をどうしたら元気にできるか、そのお手伝いを私どもはどういう形でできるのかということから仕事を考えていきたいと思えますし、少しずつ考えられるようになってきました。区民会議との関係も大分深い仕事でございますので、またいろいろとご指導いただく部分とか、協力し合う部分があると思えます。よろしく願いをいたします。

西谷委員長 ありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 2 議 事

西谷委員長 それでは、議事に入りたいと思いますが、初めに、配付資料の確認をさせていただきます。事務局、お願いします。

(事務局から資料の説明)

西谷委員長 ありがとうございます。資料の不備な点がありましたら申し出いただきたいのですが。——よろしいですか。

調査審議課題について

(1) 地域交流部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、議事の調査審議課題に入りたいと思います。

まず、地域交流部会の検討経過報告について、根占部会長よりご報告をお願いいたします。よろしく申し上げます。

根占委員 地域交流部会を担当します根占です。よろしく願いいたします。

それでは、部会の検討経過報告についてご報告いたします。

4月16日(木)に第5回地域交流部会を開催いたしました。第5回部会では、区民参加の芸術祭の取組である「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小学生の絵画展示、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動の実施報告と、あいさつが交し合える事業の調

査状況と手引書の企画案の検討、並びに市民活動推進に関する課題への具体的な課題について審議、検討いたしました。

まずは「川崎・しんゆり芸術祭」の開催に伴う小学生の絵画展示、新百合ヶ丘駅周辺の美化清掃活動の実施についてご報告いたします。

資料2をごらんください。小学生の絵画展示は、小学生の描いた絵画を展示することにより、「川崎・しんゆり芸術祭2009」の雰囲気づくり、来街者の歓迎ムードづくりを図る目的で実施いたしました。

実施期間は平成21年4月20日（月）から5月7日（木）でございました。展示期間中の休日は、各委員が当番で展示状況を確認し、破損時などの連絡体制も整えて対応いたしました。

この中には、ここの矢野委員が、5日に見回っていただきましたときに、1枚外れかけたのがあったということで、それを息子さんと一緒にきちんと直していただいたということで、非常に美談であります。

絵画の盗難や大きな破損もなく、5月14日（木）に各学校に返却いたしました。

なお、返却の際に、ご協力いただいたお礼として、区民会議の名前の入った鉛筆を記念品として差し上げております。

おかげさまで、この展示期間、4月25日だったですか、相当雨が降り、風が吹いた日が1日あっただけで、あとは天気にも恵まれたのではないかとこのように、これも幸いでありました。

続きまして、資料3をごらんください。美化清掃活動実施報告になります。こちらも「川崎・しんゆり芸術祭2009」の雰囲気づくり、来街者の歓迎ムードづくりを図る目的で実施いたしました。

当初、21年4月21日に実施予定しておりましたが、雨天のため、1日延期し、4月22日に実行いたしました。

実施場所は新百合ヶ丘南口のペデストリアンデッキの水系施設、駅南口ペデストリアンデッキ上並びにバスロータリー周辺、駅北口バスロータリー周辺及び絵画展示場所を中心に活動を行いました。

実施日が延期になったにもかかわらず、渡邊副委員長の出身母体である川崎美化運動実施麻生支部、美化ボランティアですね、昭和音楽大学、日本映画学校、J-COMせたまち、川崎・しんゆり芸術祭実行委員会、しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム等から多数のご参加を得られ、無事終了することができました。

これら2つの活動は、お手元にございます、読売新聞、神奈川新聞、東京新聞に写真つきで掲載されました。また、J-COMせたまち局の番組でも放送されております。

続きまして、市民活動の推進ということに移らせていただきます。ちょっと前に戻

ってもらいまして、最初のA3判の資料1をごらんください。市民活動推進につきましては、課題が抽出され、課題解決のための具体的なアイデアとして、市民利用施設の情報を効果的に提供する仕組みをつくることと、地域と連携しながら区民会議のネットワークを活用し、市民利用施設の調査をすることが出されておりました。4月16日に開催しました地域交流部会でも検討いたしましたけれども、取組課題の内容がかたまりませんでしたので、有志メンバー数人で集まり、企画した案を5月15日に開催されました企画部会に提案いたしました。企画部会において、本会議への提案について承認が得られましたので、その内容についてこれからご説明いたします。

資料4の地域交流部会「市民活動の推進」の取組（案）をごらんください。

第1点目が、区内の市民活動支援拠点施設の取組内容の調査です。資料の下の左枠内に市のガイドラインが示されている市民活動拠点施設をまとめてみました。

まずは市の拠点としてかわさき市民活動センターが位置づけられています。こういうことに関しましては、平成13年に、市民活動の支援指針というものが策定されまして、そこでこういう市の拠点、区の拠点、地域の拠点を設けるということが明記されてございます。市の拠点として、中原区にありますかわさき市民活動センターが位置づけられております。

次に、区の拠点として、区民活動ルーム・市民館が位置づけられております。区民活動ルームの中には、3年前にできました、市民交流館やまゆりというものがございます。

最後に、地域の拠点として、こども文化センターが位置づけられております。これも私は不勉強で、初めて知ったことなのですけれども、地域の拠点がこども文化センターであるということです。

これを麻生区に仮に落とし込んでみたものが右の枠になります。市の拠点はかわさき市民活動センターで、区の拠点は市民交流館やまゆりと麻生市民館となります。地域の拠点として、こども文化センター、10カ所ありますが、そのほか、虹ヶ丘コミュニティルーム、はるひ野黒川地域交流センターが挙げられます。

この拠点というのは、会議とか、作業とか、団体交流の場所と、情報提供、人材育成等の機能を発揮するということがうたってございます。

まずは、こういった区内にあるこれらの施設の概要や利用状況、自主事業、広報活動、他団体との連携状況などをヒアリング等を通じて調査を実施し、あわせてそれぞれが抱える課題などの抽出も行いたいと思っております。

次に、市民活動支援拠点として定めております各施設間の連携強化の推進です。既に市民交流館やまゆりと麻生市民館では、イベント情報とか、相談窓口というもので、共有化が実施されております。この動きを地域の各拠点施設にも広げ、より市民活動が行いやすくするために、環境整備の推進を行うための方策を検討いたします。

具体的な取組につきましては、各市民施設の調査結果や、そのときに挙げられた課題などを踏まえて検討することになっておりますが、各施設の連携、ネットワーク、各ホームページ等による情報共有、情報発信などを通じ、情報を効果的に提供する仕組みづくりが可能にならないかを検討していきたいと思っております。

プライベートなことではございますが、私はやまゆりの理事長をやっておりまして、既にホームページはつくられております。予約状況も、ごらんになった方もおられますが、ちゃんと予約がどうなっているかということもはっきりわかります。やまゆりの1つの目的というのは、やまゆりからいろいろな情報を発信しようではないかというのが1つの課題でもあります。着々とそれは整いつつあります。

それから、4番目としまして、「あいさつが交し合える地域づくり事業」について。最後に、資料5をごらんください。この事例集といいますか、手引書の作成は、町内会・自治会を核として、地域の中で活動するさまざまな団体がお互いに協力し合いながら、地域の課題解決を図ることができるコミュニティづくりを進めることを目的に実施するものでして、これまでの経過並びに今後の予定についてご報告いたします。

昨年11月に区内の各自治会・町内会へのアンケートを実施、回答をいただきました。その中から特徴的な活動を行っている町内会・自治会などを抽出しましてヒアリング調査を実施いたしました。ヒアリング調査はほぼ終了し、現在、調査結果の分析や特徴的な取組内容などについて取りまとめを進めているところです。今後、事例集への掲載記事内容について順次関係団体等に確認をもらい、3月上旬と言いますが、もう少し早くできれば2月下旬あたりをめどに完成できるように作業を進めております。

以上、地域交流部会のこれまでの取組事例の紹介、検討結果の報告と、これからの取組について説明させていただきました。ご意見をいただきたいと思います。どうもありがとうございました。

西谷委員長 ありがとうございます。ただいま地域交流部会を代表して、根占委員から、地域交流部会の検討経過についてご報告及び提案をいただきました。

では、芸術祭に関しまして実施しました小学生による絵画展、それから、美化清掃活動、それぞれについて皆様方からご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。もう1カ月近く前になってしまいましたけれども、初めてですので、皆様方から感想またはご意見、次回に関するご意見等も含めていただければと思いますが、いかがでしょうか。

山崎委員 絵画展は大変よかったんですが、しり切れトンボで、全部あそこがずっと埋まればよかったんですが、途中で終わってしまったということで。

それともう1つ、小学生だったら、この辺では私立は桐光学園に小学生の部があるのですよ。そういうところも含めて、小学校として考えていけないといけないのでは

ないかという気がいたします。できるだけ少し多目にして、あそこいっぱい並べることのほうがよかったような気がします。

それから、もう1つ、看板が小さくて、これでは何だか、皆さん、ただ学校名を見るだけであって、どういう目的かというのがはっきりしなかったと思うのですね。景観形成の問題もあるのですけれども、やはりそういうときにははっきりとしたものが必要だろうと。せつかくですので、皆さんに見てもらおうということは、目的がはっきりしなければいけないと思うんです。そういうことでございます。

西谷委員長 ありがとうございます。確かに目的の看板が小さいというのは、ここで見ていますといいのですけれども、屋外に出しますと本当に小さいので、今後それは考慮していかなければならないということと、桐光の小学生というのは考えつきませんでした。申し訳ありませんでした。今まで全然わかりませんでした。枚数からしまして、フェンスはもっといっぱいになると私は思っていました。あそこで終わってしまったので、そのあたりはちょっと誤算だったと。初めてでしたので、そこまでは余り気が回らなかったと思います。

ほかにご意見はございませんでしょうか。

鴨志田委員 1つ今回テーマがドラえもんということが「川崎・しんゆり芸術祭2009」にあったんですが、ドラえもんといったら、小学生もそうですけれども、幼稚園ということになると、集客を考えた場合は、幼稚園のほうが初めての孫ということで、おじいちゃんおばあちゃんは、小学生と違って、幼稚園ならもっと来たと思います。

あと、機会があれば、逆に南側のイベントのときにも、1つの集客の方法として、あそこは口の字型になっていますけれども、あの辺をうまく展示場でまたオーケーとか、許可をもらえれば、そういうのも1つの考えとして、南側でやっても、あれはきれいなものだし、ぜひほがらかとすると思いますので、ぜひ南側でも何かの機会に使えたらいいかなと思いました。

西谷委員長 ありがとうございます。幼稚園の生徒の子どもたちも考慮したほうがいいかもしれません。

ほかにございませんでしょうか。清掃も含めて。

守田委員 清掃活動をしているときに、何人かの友人、知人に会いまして、随分目立っているねと。多分ベストだと思うのですけれども、そういう声かけをされたのですね。美化清掃というのは、渡邊さんのところでは定期的になさっていらっしゃると思いますので、強制ではなくて、区民会議のメンバーも、出られる人間が出られるように、そのときはぜひベストで清掃して参加するというふうにする、ただスポットでこのときだけではなくて、ずっと継続していけるという協力もできるということで、そういう形にしていくといいのではないかと思います。

渡邊副委員長 今の話、月2回ですか、第1木曜日と第3火曜日が美化ボランティアの方の定例の活動日になっていまして、この間は、このときは美化ボランティアの方も来ていただきました。これは雨が降れば中止になりますけれども、そうでない限りは、最初、朝9時半にここに集まって、今、派手な色だという話が出ましたけれども、ああいうベストを着て活動に入るということをやっています。ですから、この区民会議のメンバーの方ももしご都合がつけば、顔を出していただけたらと考えています。

西谷委員長 今、ご意見をいただいた美化ボランティアと一緒に区民会議のメンバーも、できる人が清掃活動に参加することについていかがでしょうか。ご賛成いただけますか。——それでは、区民会議としても、できる方は、第1木曜日と第3火曜日の9時半に地域振興課の前だそうです。企画課もすぐ隣です。ベストをいただいでください。せっかくなので、参加されるほうがいいと思います。ただ、芸術祭のときだけのポイントの作業ではなくて、できる方が1人でも2人でも参加されたらいいと思いますので、よろしく願いいたします。

そのほかございませんでしょうか。

それでは、今後のことなのですが、今後、この展示会をどうするか、幼稚園の子どもたちも、それから桐光の小学生も入れてはどうかということがあります。芸術祭の実行委員会では今後どうされるのでしょうか。

鴨志田委員 検討中です。方向としては、できたらいい機会なので、残していくという方向では皆さん考えられていますけれども、また決定ではありませんので。ぜひいいことはやりたいという方向ではありますけれども。

西谷委員長 今、ご意見のように、次年度以降どうするかということは検討中で、多分前向きに実施の方向では検討されているようなのですが、区民会議としても今後実行委員会の動きを見ながら、本日のご意見を伺ったのを検討しながら、次年度についてもまた再度改めて検討させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

その次の資料4の地域交流部会「市民活動の推進」の取組（案）ですけれども、これにつきましてご意見をいただきたいのですが。

守田委員 活動の場のご紹介を調査していくということですが、実は私が属しております市民の会、今、第3期に入っておりますけれども、1期の市民の会の際に、15年から17年の3年間で、活動の場を3年間にわたって調査いたしましたものを小冊子にまとめてあります。ただ、そのメンテナンスを全然しておりませんので、その後のいろいろな情報やら何かが十分に集まっておりませんで、ちよっともったいない状況になっております。そこで3期の市民の会では、活動団体にとって場がとても必要なものですから、例えば音楽をする団体とか、スポーツをする団体が、なかなかその場が見つからなくて困っているという悩みなどを聞いておりますので、新しい情報や変更を

調べて、本当に活用できるデータにしていこうということで、企画書にまとめ、今年度後半に調査活動に着手することになっております。ただ、相談窓口事業というのは、やまゆりのほうが事業としてきちっと現在もなさっていらっしやいます。恐らく活動の場の情報は、相談窓口のほうに集約されていくのではないかと考えておりますので、やまゆりのご相談しながら、市民の会としてどういう協力の形ができるかということをご相談をしたいと思っております。ですから、そういう形で、市民の会も何らかの形で協力していきたいというふうに思っております。

神本副委員長 先日、区選出市議会議員と語る会がありましたけれども、そのときにも市民活動の場が足りない、また、同じ団体が何人も来て、1つの団体で会場をとるのに何人も団体を登録しておいてとるところがあるのではないかとか、また、利益を上げている団体もあるということで、その辺が、ボランティアだとか、市民のためにやるような活動のほうに場を向けてほしいという意見がありました。それは議員の方にもお願いしたのですけれども、それは皆さんの常識に担うところがいっぱいあるよと言われましたけれども、私たち、会場をとるほうも、もっと常識を持って、そういうことのないようにしていきたいと思っておりますけれども、それをぜひ守田さんのほうでまとめていただくのをよろしくお願ひしたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。麻生区は16万人以上の区民が在住しておりますので、多分いろいろな活動の場を、皆さんがそれぞれ要求しておられると思います。それをどう皆さんに上手に使っていただけるようにするか、またはわからない方にどうやってご案内できるかということ、市民の会、やまゆり等で情報を集めたり、発信されたりしておられるようです。それもまだわからないという方々もいらっしやるといことで、区民会議としてどういう手だてができるのか、うまく市民の会ややまゆりと連携しながら、お互いに協力し合いながら、いいものにしていければというのが多分地域交流部会での意向だと思います。これについてももう少し何かありましたらお願ひします。

山崎委員 市民交流館やまゆりと麻生市民館、この2つに社会福祉協議会にも相談窓口はあるわけですね。それで、できればそういうこともきちっとしておかないと。お年寄りだけではなくて、子どもの問題も社協にありますので、そういうことを含めていった場合。

それともう1つ、今、教育関係はふれあいネット、そういうこともありますので、その辺もはっきりしていかなければいけない。

もう1つ、麻生市民館の中に、これほどこの団体が窓口になるのかというのは、我々知っていなければいけないのかもしれないんですが、多分、あそこには、サークルが幾つもありますので、その人たちはやるのだろうと。僕はその辺がよくわからないということが1つあるので。やまゆりの場合はやまゆりの方々がやってくれるだろ

うと。こっちはだれがやるのか。そういうことを社協は窓口がボランティアで何人か座っているんですよ。日にちが決まっていますね。そういうのがありますので、こちらの市民館はどここの部屋で、看板も出ていないので、窓口がわからないという問題が出てくるような気がします。何曜日と何曜日が相談窓口がありますということをはっきりしておいたほうがいいと思うんですね。

根占委員 今、社協の問題が出ましたけれども、やまゆりは社協とも連携をとって、市民館、社協、やまゆりと、3者で連携をとりながらやっております。

山崎委員 ここに名前が載っていないからわからないと、そういうこと。ですから、その辺は載せておいてくださいということです。

菅原委員 今、根占さんがおっしゃいましたが、相談窓口は、この間、集まって、連携の話をしたんですよ。やまゆりも含めて。市民館のほうの相談窓口は毎日開いているんですよ。文化協会と里山フォーラム、地域教育会議、全部曜日ごとで担当を分けて、こういう内容が相談に来たときはどこに割り振るのかということで、相談窓口を持つところのやまゆりの方たちとうちのほうから派遣されている人と会議を持って、そこは調整されています。要は市民館ではあそこの昔館長室と言われた、窓口があるこちらの部屋が相談室。今、ドアも変えていただくということで、ちょっと中が見えないドアなのでね。今は随時いつでもあけたままになっているんです。それで、だれでも入ってこれるようにして、そこはいらっしゃれば、内容によって、どこに割り振っていくかを、文化的なものであれば市民館の相談室が乗れるけれども、そうでなくて、社協に関係するようなどころであれば社協を紹介して、そこに行っていくとか、そこと連絡をとって解決をすとかというように、一応相談窓口、市民館のほうはそういうふうに今調整が済んだばかりですので、これから使いやすく、少しよくなるのではないかと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。さまざまに皆さんが活動されているのですが、それを区民の方にいかにわかっていただけるかということが、この区民会議では仕事ではないかと思えます。社協も市民館もやまゆりも、それぞれに区民のために窓口を開いて、いつでもいらしてくださいという体制は整っていると思えます。それをどうやって皆さんに知らせてあげるのか、ご案内できるか。やまゆりに行ったり、市民館に行ってください方はいいのですが、そうでない方たちにどういう方法にしていくのかということも課題かと思っています。今後少し検討させていただければと思っています。沢山のご意見をいただきましたので地域交流部会で検討させていただきます。非常に管理されているのに、何でそういう要求があるのか、不満がある場合にはなぜこの不満があるのかということも検討する必要があると思っています。

まだほかにご意見ございませんでしょうか。

渡邊副委員長 地域の拠点として、こども文化センター、虹ヶ丘のコミュニティルームが

ありますけれども、老人いこいの家を含めて。といいますのは、私は3年ほど前まで、麻生老人いこいの家の運営委員長をやっていたんですけれども、今、麻生区に7つのいこいの家があるんですね。百合丘に新しくできましたので7館になったんですけれども。私が3年前までやっておりました麻生老人いこいの家は、夜間、休日開放をやっている。麻生区では、あそこだけです。ほかが手を挙げなくて、私はあそこの委員長をやっていましたが、手を挙げて、そういうことになっているんです。だから、夜でも使えるし、休みの日でも借りようと思えば借りれるように。いこいの家としては4時でおしまいですね。あとは管理人さんが中を掃除したりする時間があるから、もうちょっと管理人さんはいるでしょうけれども、その後も使えるように、夜間、休日。麻生老人いこいの家はそういう体制をとっているはずですから、夜なんか使われる、あるいは土日に使われる。土曜日はいこいの家はやっているんですね。だから、日曜日なんかは利用ができるのではないかと思いますので、その辺も拠点として考えてよろしいのではないかと思います。

西谷委員長 第1期のときに、老人いこいの家についてはアンケートをし、いろいろな意見を提案しました。その中に利用時間の問題も出ていました。これも改善すると、市民活動のための場として、特に今から元気な中高齢者がふえ、拠点が欲しくなってきているところですので、これも検討の材料にすることが必要かと思っています。

ほかにご意見ございませんでしょうか。

伊藤委員 今、渡邊副委員長から、いこいの家の夜間、それから、休日の利用というお話を伺って、私は知識不足で、知らなかったものですから、4時で終わりだというふうに思っておまして、60歳以上の方しか使えないという理解をしておったのですが、今のお話ですと、夜間、休日は、特に60歳以上の方、いわゆる老人と呼ばれている方の活動のためにだけなのでしょうか。それとも一般に開放して、必要な活動をそこでやっていいよというような中身なのかどうかというのをご質問させてもらいたいなと思ったんです。

渡邊副委員長 その辺の話はそれこそ社協に聞かないと。私の知る限りでは、例えば休日、近隣の町内会で会館もないから、そういうところを借りて役員会をやろうとか、そういうのでも使えるという認識ですから、別に60歳以上なんていうのはなくて、使えるようだと、私はそういう認識なんですけれども、今度、いこいの家は全部社協の指定管理者で、私の家の前の麻生と、もう1つ、王禅寺、そこは違う管理者のところ、今度また社協に全部なりましたので、社協に行って聞けば、その辺はすぐぱっと答えが出るとは思いますが、私の認識は、確かに60歳以上と書いてあるのですけれども、あれは関係ないのではないかというふうに。厳に私は自分で今、おしゃべり会という実行委員長で、毎月1回やっている。それなんかはお孫さんを連れてきてもいいですよと私は言っているのですよ。たまたま連れてきませんけどね。そういうことで

やっていますから、見方によると、私が勝手に無視してやっちゃっているのかなと思いますけれども。60歳以上にしたらすぐ限定されちゃって。せつかくの市の施設ですからと思っています。しっかり確認をしたいと思います。

事務局 事務局のほうで調べさせていただきたいと思います。

西谷委員長 これについてはよろしくをお願いします。

根占委員 私は白山小中学校の協議会にも参加させていただきまして、いろいろなご意見を聞いたんですが、地域の方はかなりの頻度で小中学校の教室なんかを使っているんですね。そういうことが、例えば麻生区の各小中学校で、市民に開放してもらえるのかどうか。かなりの頻度で使っておられて、廃止になったら、あとの引き継ぐところにも、そういうように地域のもものが活用できるようにお願いしますよとか、そういう声が非常に多かったのですよ。だから、場としては、小中学校も視野の中に入れてもいいものかどうか。余りありますよと言えば、わっと殺到したらまた困るでしょうし、その辺のことも検討してみたいと、課題として取り上げてみたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。根占委員から、今まで余り使われていないけれども、市民が利用できる施設がほかにもあるのではないかと、小中学校を含めて、それについて交流部会で調査していただくということで、いかがでしょうか。

山崎委員 今出ました小中学校は、各小学校、中学校にも開放委員会というのがあります。そこで検討されて、地域の方々ほとんど使っています。夜間はあきがありません。それから、土曜、日曜は、朝から晩までいろいろな団体が使っています。ですから、どこも満杯じゃないですか。

それから、もう1つ、こども文化センター、これは子どもの施設なので、大人が使えるのは午前中のいいところ2時間とっていただかないと、午後から日にちによっては幼児が使っていますので、幼児の部屋とは別にありますけれども、できるだけ子どもが多い、大人が使う場合は午前中間い合わせて聞いて、あいていれば使えるかもしれませぬ。それだけ申し上げたいと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。確かにこども文化センターなので、子どもが優先ということですが、調査をして、どういう状況であるのか、地域によっても違うと思います。午前中なら使えるとか、午前中も使えないとか、幼児が使うので使えないというところもあるかと思えます。または曜日でもって、あいているときがあるかもしれませぬ。午後は多分小学生以下の子どもたちが使って、夜まで結構利用度が高いと伺っています。ただ単に利用度が高いということだけではなく、調査をして、どういう状況であるかということも把握する必要があるでしょうということが、多分この中では出ていたと思います。

あとはいかがでしょうか。

谷川委員 先ほど小中学校の利用ということでお話がありましたけれども、今、小学校区

ごとにわくわくプラザという放課後の子どもたちが利用できる施設ということで、小学校区ごとにつくられて利用されているかと思うのです。そのわくわくプラザが本当に地域の拠点として、例えばですけれども、小学生がまだそちらを利用しない放課後になる前の午前中ですとか、そういった時間帯を地域の人が利用できないかということもできれば検討していければいいのではないかと思います。わくわくプラザのほうは、たしか市民局の管轄だったと思いますので、また学校施設のほうは教育委員会の管轄なのかと思うのですけれども、そのあたりの管轄の違いでどの程度地域の方たちの利用ができるかというところも、少し区民会議として何か提案というか、提言というか、していくことができればいいのかなと思っていますので、私自身も今地域交流部会の中に属させていただいておりますので、その辺はぜひ積極的に検討していけたらいいと思っています。

西谷委員長 ありがとうございます。今、わくわくプラザの問題も出ましたが、区内でもって、こういう施設はどうだろうということがございましたら、きょうでなくても結構ですので、お申し出いただければと思います。それを調べてみて、どういう形で使えるものか、使えないものか、なぜ使えないのかというところを明らかにしていくことができると思います。地域で持っている自治会館等についても調べていければと思っていますので、ぜひご協力いただければと思っています。地域交流部会ではこの話をしていきますが、環境部会の方たちにもそれぞれの地域の施設等でご提案いただけると、眠っている施設、それから、気がつかなかったような施設等を掘り起こすことができるかと思っています。少しでも輪が広がるように、それぞれ、市民館ですとか、やまゆりですとか、社協ですとか、いろいろな団体とネットワークをしながら、いいものができればと思っています。よろしくお願ひしたいと思っています。

いかがですか。そのほかございませんでしょうか。——それでは、地域交流部会の中で検討させていただきたいと思っております。

それから、あいさつが交し合える事業ということで、先ほど根占委員のほうからご説明がありましたように、町会・自治会、それから、市民活動団体にヒアリング、アンケートをしまして、それを今集計中です。作成状況は区民会議の中で報告していくということにしておりますので、これについては、もし何かありましたらご意見をいただきたいのですが、現在そのような形で進めているということをご報告させていただきます。

それでは、いろいろとたくさんご意見ありがとうございました。地域交流部会の検討経過報告及び提案について、これでご承認いただけますでしょうか。

〔拍手〕

西谷委員長 ありがとうございます。

(2) 環境部会の検討経過報告及び意見交換について

西谷委員長 それでは、議事の(2)環境部会の検討経過報告について伊藤部会長、それと、神本委員からご報告をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

伊藤委員 環境部会の伊藤です。よろしくお願いいたします。

それでは、まず、資料6をごらんいただけますでしょうか。3月17日に第4回の区民会議が行われまして、そこでもご説明を申し上げているわけですので、その後の環境部会の取組につきましてご報告をさせていただきたいと思っております。

その後、4月15日に、環境部会としては、第5回の部会を持ちました。ここには川崎市の環境局の廃棄物政策担当の方も2名参加をいただいた。それから、実際、地域で農業をやられている方にも参考に出席をいただいて、議論をしてきました。この環境部会の資料6のテーマとしましては、「エコのまちあさおの推進～持続可能な地域社会の創造を目指して～」ということで、身近な地域からの今問題になっております地球温暖化対策、それから、緑化、こういった問題を課題としてテーマとして挙げて実践してきております。

この中で、このシートの中の右側に①、②、③、④となっておりますが、具体的なアイデアとしましては、地球温暖化問題については、レジ袋削減、エコバッグの普及という問題、それから、環境家計簿の作成という課題を挙げております。

それから、その下の身近な地域から緑化活動などを実践するという意味で、生ごみの堆肥化及び地産地消の推進ということをテーマとして課題として挙げて、実践しております。

裏ページを見ていただけますか。裏のページでは、現在、先ほど申しましたように、③、④ということで、取り組んできました。右端、実際に生ごみの肥料、堆肥化と地産地消の具体的な取組ということで、3月3日から現実にスタートを始めました。具体的には、この区役所の4階にありますレストランあさおの生ごみを収集して、東京農大に運び、それを農大の生ごみの、ここは堆肥ではなくて、肥料にするプラントですが、ここでプラントで肥料をつくってもらい、それを古沢にあります井上さんという農家で、ことし3月9日でしたか、肥料をお渡ししまして、それを使って、約1反ですか、300坪のところへその肥料を元肥として使っていただいて、野菜をつくる。その野菜を使って、レストランあさおで料理にして提供するという一方で、生ごみの減量、そして、それを使って地産地消というサイクル、循環、これが現実に実現に向かって進んでおります。

それにつきまして、資料7に書いてありますが、今までの経過をご説明させていただきたいと思っております。

5月1日に、レストランあさおにおきまして、区民会議から西谷委員長、私伊藤と山崎副部会長に参加いただきました。農家の井上さん、レストランあさおの対比地チ

ーフ、企画課から荻原さん、重森さん、稲葉さん、そして、地域保健福祉課の高木さんと並河さん、管理栄養士です。この5者で打ち合わせを行いまして、今までの経過を報告すると同時に、どうやって料理にしていこうかということでやりました。

その内容は4番、先ほど申しましたように、①として、レストランあさおの生ごみを3月3日から運んでいる。②として、農大のプラントでつくった肥料、「みどりくん」というのですが、これも皆さんに前に見ていただきましたけれども、これを3月9日に井上さんの農家に運んだということです。

それを使ってどうしようかということで、今後の展開ということで、レストランあさおで地元産の食材を使ったメニューを提供するということにしました。

開始日ですけれども、いつからやろうかということで、ここに中段以下に書いてありますように、毎月19日が食育の日になっているのですね。また、6月は食育月間ということになっております。これを記念しまして、6月19日に、レストランあさおでメニューを提供するというにいたしました。毎月19日をやろうということなのですが、19日が休みの日とか、土曜日となった場合は調整しまして、その下に書いてあります、6月19日の後は7月17日、毎月このような日程でやりましょうと。ここには先ほど地域保健福祉課の管理栄養士さんも協力をしながら、カロリーの計算とかいろいろしていただくということでもあります。

メニューにつきまして、定食で出そうか、弁当か、一品料理かとか、いろいろ考えられるわけですが、どのような形で提供したらいいかというのをご相談させていただきまして、それで、レストランあさおのほうで考えていただいて、つくってみよう。そして、皆さんに試食会で食べていただくということになりました。

このことにつきましては、広報としまして、6月1日号に開始をするよということ市政だよりで出しましょうと。それから、レストランあさおの入口に、生産者の見える顔写真とか、メニュー表、カロリー表とか、料理のつくり方などの掲示物も掲げてみようではないかということです。

今後の予定ということで、先ほど試食会の問題を言いましたけれども、6月4日、来週の木曜日、16時から、レストランあさおで試食会をやります。どんなものが出てくるかまだわかりませんが、ぜひ皆さん、参加していただいて、食べていただきたいなど。どなたでも区民会議の方、皆さん、出ていただいて、いろいろご意見を伺いたいということで、試食会をやりますので、ご参加できる方は、もう来週ですので、きょう、後で手を挙げていただいて、その分、つくっていただくかなということです。

そんなことで、生ごみリサイクル・地産地消に関する具体的な実践が進んでまいりますので、ぜひこれを区内に広めて、大いに地元野菜を使う、あるいは生ごみの減量に結びつけていきたいということです。皆様のご意見をお伺いしたいとい

うことが1点です。

次に移らせていただきます。資料8です。環境家計簿の問題ですが、先ほども申しましたように、地球温暖化問題に絡んで、環境家計簿ということで、区民会議も課題に挙げておりました。今回、新しい麻生まちづくり市民の会が環境をテーマとする部会みたいなのを立ち上げたということで、ことしの2月ごろから計画を立てておられたようです。それで、区民会議と市民の会ががっちゃんこするのめどうかということで、相談会を持ちました。参加者として、西谷委員長と私が出ました。市民の会からは上野部会長が出席いただきました。区役所から荻原さん、重森さん、稲葉さん、そして、地域振興課から安藤さんにご参加をいただいて、相互の意見交換を行いました。

3に、麻生まちづくり市民の会のテーマとしましては、「エコで元気なまちづくり」プロジェクトということで立ち上げをしたということです。

市民の会の取組の目的としては、エコの意識の高揚、エコに市民が日常的に取り組む、そういったものを日常化しようということで、ことし1年目の取組として環境家計簿モニタリング・コンテストをやりたいと。そのことにつきましての講演会、環境家計簿について説明会、講演会を9月ごろ開催したい。広報紙にもそれを載せて広めたいというご意向でありました。

そこで、区民会議との連携ということで、その下に書かせていただきましたが、もう既に市民の会としてはこのようなスケジュールで始まっておりまして、ことしの7月には環境家計簿をつけていただくという方をモニターを100名ぐらい募集したいということです。そして、モニターを締め切って、説明会をやりたい。10月に講演会をやって、11月から1月、3カ月間、一番取り組みやすい電気、ガスの使用量、これは毎月、東電とか東京ガスが計測したものを配りますが、それに基づいてやろうということで、1月に終わって、2月にコンテストをして、来年から本格的な取組をしたいということです。

そんなことで、区民会議の取組（案）として右側に書きましたけれども、区民会議としても課題として挙げておりましたし、非常にいいのではないかとということで、市民の会に応援といいますか、協力をしていこうじゃないかということに相なりました。そこで、区民会議のきょうご出席の皆さんも含めて、ぜひモニターに応募していただきたいということで、そういったことを区民会議のネットワークを通してモニター参加を呼びかけようということでもあります。こういう形で、区民会議としても、環境家計簿を通じて、地球温暖化防止の活動に市民の会のところへ協力をしていくということにいたしました。

次に、資料9をごらんいただきたいと思います。「生ごみリサイクルと地産地消フォーラム」を開催したいということの提案です。趣旨としまして、先ほども申しました

が、6月19日に食育の日に、レストランあさおで、地元農家の生産した野菜を使ってメニューを出すことになりました。これは生ごみリサイクルと地産地消の取組の初めといたしますか、端緒なわけですが、これを機に、このテーマの推進について、関係団体も含めて、広く区民の理解と協力と参画をいただけるような機会としようということで、フォーラムを開催したいという提案であります。

次に、内容ですけれども、私ども、講演としまして、基調講演的なものを、生ごみの肥料化ということで、東京農大の後藤教授、実は前にも、第4回区民会議でも報告しましたが、東京農大にリサイクルプラントを見に行きまして、また、私どものレストランあさお、あるいは麻生区内の小学校の出した給食残飯を肥料化しているわけですけれども、農大をお訪ねしまして、実態を見学すると同時に、お話を伺ったという中で、非常にいい内容だったということで、ぜひ後藤教授に来ていただいて、講演をお願いしたいというのは、基調講演として挙げたものです。

2番目には、事例発表。実は東京農大に2回ほど参りまして、いろいろ事例の発表を聞いたりしました。その中で①としまして、商店街での事業系生ごみの肥料化に取り組んでいる事例があります。これは新宿にあります京王百貨店のレストラン街の生ごみを百貨店の屋上に運んで、農大型のリサイクルプラント、肥料づくり、これを使って、これを設置されまして、生ごみをリサイクルし、肥料にしている。それを埼玉のほうとかいろいろなところの農家にお渡しをして、使っているという、事業系での取組について、いい案があります。このため、京王百貨店のレストラン街では、すぐさま、生ごみを屋上に持っていきますので、ネズミがいなくなり、非常に清潔感もあふれるということで、いいメリットがいっぱいあるということです。そんなこともあって、そういう取組を報告してもらおうではないか。

②としまして、東京農大がある桜丘町という町会があるのですが、ここでは「じゅんかんチャレンジ桜丘」ということで、地産地消の取組をやっております。この桜丘町会の町会長さんが音頭をとりまして、「じゅんかんチャレンジ桜丘」という推進協議会をつくったのですね。そこに関心のある方、農家も含めてですけれども、そういう協議会をつくって、町会での生ごみを回収して、それを乾燥して農大へ運ぶ。農大で肥料にして、それを地元のいろいろなイベントのときに肥料を販売したり、差し上げたりしているということで、非常にすぐれた活動をしているということで、これも私どもも参考にできるのではないかとということでお呼びしたい。

③としまして、あさお生きごみ隊の生ごみリサイクル、これはそこに山崎さんがいらっしゃいますが、あさお生きごみ隊の隊長をやられていて、古沢で地域の皆さんの生ごみを回収して、肥料をつくっている。そして、農家でもつくっているということで、麻生区での実際の取組のお話を事例報告してもらいたいなど。

④としまして、ダンボールコンポスト、今度は集団というよりも、個人個人がダン

ボールのコンポストで生ごみを堆肥にしている。ここに天野委員がいらっしゃいますが、環境を考え行動する会ということで、最近のダンボールコンポストの普及活動に取り組んで、120世帯以上ですか——200にいったと、どんどんふえているということで、これは個人的に生ごみを減量し、堆肥にできるということで、これも事例報告をしてもらいたいなど。

⑤としまして、区民会議の取組としまして、先ほど報告いたしましたレストランあさおの事例、地産地消の事例というものをそれぞれ短時間ですが、事例報告をしたい。

そして、3番目に、パネルディスカッションを行いたいなど。引き続いて、上記の方々と、それに加えて、環境局の方、それから、農協の方、梶さんが代表できょう見えられておりますけれども、農協からもこの麻生区の特徴を踏まえた、地産地消も含めたそういったご意見なりも伺いたいなど。

それから、地元商店街ですね、鴨志田さんもきょう見えられているものですから、先ほどの京王百貨店との絡みもありまして、商店街でも事業系の生ごみも含めた事例、考えについて、パネルディスカッションで意見交換会をしたいというふうに思っております。

その他ですが、ここまでは一応プログラムとしてあるのですが、その他、会場を区役所の第1、第2会議室をぶち抜いてやってもいいと思いますが、堆肥でつくった野菜とか、ゴーヤーですね、今、ゴーヤーのカーテンをやろうということで皆さんやられていると思うのですが、区役所もやっているのですね。そういった生ごみを基本に使った、そのほかの肥料でもいいですよ、ただ、生ごみを使って堆肥にした肥料を使っているというところの自分の自慢ですね、写真を撮っていただいて、そして、応募していただいて、会場へ事例の報告をしたものをやったらどうだろうかということです。

それから、4番目に、生ごみの堆肥づくりの器機、いろいろなコンポストとかありますね、市で、密閉容器とか、そういったもの、あるいは先ほどのダンボールコンポスト、そういったものをブースを設けて、終わった後とか、休みのときに説明をしてもらって、いろいろ知識を得て、実践に結びつける。そういったことを考えております。

できれば農協さんの協力を得て、その日は区役所前の広場で出前の直売会、今、セレサモスでやられているのですが、それを全部持ってくるわけにはいかんでしょうが、そういったことを農協さんとかこれからご相談をさせてもらいたいなど。こういうこともやったらどうかというアイデアは皆さんから出していただければ、もっと豊かなフォーラムになるのではないかとというふうに思っております。

構想としてはこういうことなのですが、時期としましては、11月、あるいは12月初

旬、10月はいろいろなお祭りがあるということもありますし、12月末になりますと相当押し迫ったということなので、11月か12月初旬ぐらいが、今から準備をして、広報したり、ご相談をしますと、このぐらいの時期が適当ではないかということで、11月から12月初旬の開催日ということで、ご提案をしたいと思います。

それから、主催・共催ということで、多くの団体の参加をいただきたいということで、区民会議だけではなくて、農協さん、あるいは鴨志田さんのいる商店街さん、それから、市の環境局、こういったことでやっていきたいなという、きょうは提案をさせていただきたいと思っております。

それでは、次に、資料10ですが、これは麻生区エコカルテの問題につきましては、神本委員のほうからご説明、提案させていただきます。よろしくお願ひします。

神本副委員長 では、資料10をお開けください。そこに書いてございますけれども、麻生区のエコカルテをつくったらどうかということで、ご提案したいと思います。

趣旨なのですが、麻生区区民会議では、身近な地域から地球温暖化対策を進めるために、麻生区内におけるエコ関連の取組事例等を調査し、(仮称)「麻生区エコカルテ」を作成することになりました。また、作成した成果物は、小学校や市民館等に配布して環境学習などに活用していただければと思っております。

2番、「麻生区エコカルテ」の内容。(1)区内のエコ関連データを掲載。区内の「土地利用」「みどり」等のエコ関連データを掲載する。

(2)番として、区内のエコ関連の取組事例等を掲載する。区内で区民、企業、行政等で取り組んでいる事例等を掲載する。取組事例等は、「エネルギー」、「ごみ減量」、「みどり」などに分類する。

(3)エコマップを掲載する。調査内容をもとに、区全体及び中学校区単位のエコマップを作成して掲載する。

(4)エコカルテの活用方法を掲載する。小学校、市民館等の環境学習など、エコカルテの活用方法について掲載する。

(5)成果物。「麻生区エコカルテ」冊子及びCD-ROMを作成して配布する。

今後の予定としましては、5月26日、もう既に終わりましたけれども、校長会で説明をいたしました。6月に区民会議環境部会で検討を開始いたします。22年の1月に「麻生区エコカルテ」を作成、完了したいと思っております。そして、2月に校長会に報告できればと思って進めていく予定です。

今後、区内で行われている、区民、企業、行政の取組を調査していくこととなりますが、環境部会の中で分担しながら調査していければと考えております。

以上、提案いたします。

西谷委員長 ありがとうございます。環境部会の検討経過報告について報告、ご提案をさせていただきました。

最初に、ごみリサイクル、地産地消の問題ですが、先ほど伊藤部会長からもご報告がありましたように、来週の木曜日、6月4日の試食会を「レストランあさお」でいたします。ご参加できると現在確認できる方、およその人数を言わないといけないと思いますので、挙手をしていただけますでしょうか。――9人。ありがとうございます。もしも「都合がついたから行きます」という方がありましたなら、企画課にご連絡ください。およその人数をレストランに申し入れをしないといけないと思いますので。何ができるかはまだわかりません。井上さんのからどのような野菜が入れられるようになっているか、まだ打ち合わせの段階ではわかりませんでした。多分對比地さんと井上さんとは連絡をとられていると思います。それで、野菜を中心としたメニューになるのかどうか、それはわかりませんが、次の19日にありますスタートの日に向けて試食会をするということになりました。

それから、もう1つあるのですが、麻生区の食生活改善推進委員の方々から、区民会議と懇談をしたいという申し出があります。特に環境部会の方にはご参加いただければと思いますが、そのほかの方にも、できればご参加いただいて、食生活改善推進委員の方と懇談をしたいと思っています。6月19日です。ちょうど食の日で、その日から地産地消のメニューが出る日となります。午前10時から懇談会をして、11時半ぐらいから「レストランあさお」で出された、そのときメニューになったものをいただくということをしてと思っています。これもできれば参加の方は、企画課にお名前をお申し出いただきたいと思っています。参加しますということ。できるだけ環境部会の方、ここもご参加いただきたいと思いますが、環境部会のみならず、食生活の問題ですので、地域交流の委員の方でも時間がありましたらご参加いただければと思っています。

これが地産地消のことですが、地産地消について何かご意見等ございましたらお願いいたします。

山崎委員 この間いただいた肥料を井上さんのところで使っていたいただいたのは、正直言いまして、まだできません。というのは、トマト、キュウリ、ナス、夏野菜に今使っている。それとあと、ゴボウですね。7月になるとニンジンかな。これからニンジンをやるので、そこにも使っていただくということになっています。まだ初めてのことなので、全部が全部使い切れないのですよ。というのは、商売ですから、全部だめになってはいけません。それで、トマトは80本、キュウリも80本、ナスは120本ぐらいかな、ずっと植えてありますので、それは7月に入れば全部出てくると思います。あとは今度の地産地消で、4日に食べていただくのは、キュウリのほうではないかな、それから、キャベツかな、この辺だろうと思います。この辺、さっき井上さんと会ったんですが、まだ聞いていなかったもので、多分そういうものだろうと思います。

西谷委員長 ありがとうございます。今回の6月のメニューには、「みどりくん」を使ったお野菜はとても難しいということは最初からわかっていましたが、いわゆる地産地消ですから、井上さんのところでできたお野菜で今後はメニューを組んでいただきました。そのときにできたものということになっております。多分7月ぐらいになると、「みどりくん」を使った畑から収穫できるのではないかと期待しているところです。何しろ生ものですから、どうなるかというのはちょっとわかりませんので、すべてお任せしています。山崎委員が井上さんと連携してやっていただいていますので、区民会議との往復が非常にスムーズにしているというのが現状です。井上さんには「みどりくん」をお野菜の肥料に使ってくださるということで、ご協力をいただいています。大変ありがたいと思っています。それで、今回の「レストランあさお」との連携ということになりました。地産地消の問題は何かご意見がありましたらお願いします。よろしいですか。また何かありましたら最後でも結構です。

それから、その次の環境家計簿についてですが、環境家計簿は、市民の会のほうで取り組んでおられるということで、両方で同じようなことをやっても無駄なので、私たちはそれに対して全面的に協力をしましょうということにしました。それで、その点は区民会議の皆様にご協力のほうをお願いいたしたいと思います。

もう1つ大きいのは、フォーラムをしますということなのですが、11月か12月ごろにフォーラムを開催するという案が環境部会のほうから出ています。およその企画案はこのような形でやってはどうでしょうかということで、皆様にご提案しているので、ご意見がありましたら、今伊藤委員からご説明があったと思いますので、ご意見をいただければと思っています。いかがでしょうか。

鴨志田委員 先ほど野菜を販売とかという意見がありましたけれども、そのときに、堆肥でつくったものを何品かずつ、お土産みたいな形で持って行ってもらって、食べてもらおう。そのほうが、その場で売るとか、そういうのより、試食をしてくださいと、そういう考えでいくと、それをお土産みたいなので、ぜひ食べてくれだと人が呼べるのではないかと思います。ただ来て、農協さんが野菜を持ってきて、下で販売と言っても、セレサモスさんがあるから、あっちに行ってしまうような気がしますね。それで、横でも今農家の方々も販売しておりますし。あと、去年、ほかのほうで、観光協会さんで野菜を農協さんに頼んだりしたときに、ちょうど12月ぐらいで、たしか、意外になかったんですね。端境期みたいで。だから、地元の野菜もちょうど切れる時期みたいなので、そのときに日にちを早目に決めて、井上さんのほうに頼んで、そのときにできるものをまず検討したほうが、せっかくの肥料でつくったものが並ぶような形のほうがいいと思います。できればそういう期に合わせてこちらのフォーラムを組むとか。野菜があつたって、その肥料でつくっていなければ意味がないので、できたらそっちのほうがいいかなと考えました。

以上です。

西谷委員長 ありがとうございます。すべてご意見を伺って、環境部会のほうでもう1回検討させていただくということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。フォーラムについてはまだご意見があるのではないかと思います。こんなことをしてはどうだろうということも含めてご意見をいただければと思いますが。今、時期がもう少し早いほうがいいのではということもありますが、ほかの行事との関連とか、いろいろなことを考えながら、検討していただければと思います。

伊藤委員 実行委員会というか、共催とあるのですが、具体的に例えば農協さんとか、商店街さんとかと、これらのことを一緒に、実行委員会ではないのでしょうかけれども、相談をさせてもらえればなど。そしてお互い、盛り上げたいなというふうに考えておるのですが、この点、農協さんと商店街さん、いかがでしょうか。

鴨志田委員 こういうフォーラムとか、私もほかで開催とか運営に当たっているのですが、まず人がどのくらい来るか。すごくいいテーマなのですから、いいテーマだから人が来るかということがまず限らない。それにはやはり宣伝が必要だ。あと、人が来るには、先ほど私が言ったみたいに、多少のお土産じゃないけれども、そういうものを何か用意するか、あとは皆様のクチコミ、時期ですよ、そういうのを考えて、会場の広さ、講師の知名度とか、その辺で言うと、焦ると結構しりつぽみで終わってしまうのかなど。麻生市民館、あそこをいっぱいにするんだという気持ちで始めるか、会議室で始めるか、その辺をまず考えて、そこから始めないとこれも時期とかも実際に出てこないような気がするんですね。ここの部屋だけで集めるのだったら、来月でもクチコミでできますし、会場を市民館みたいなあれだけ広いところでやるとなると、この時期では、この半年で計画できるかなという心配もありますし、いい日はとれないのではないかと、その辺があるので、もうちょっとその辺を検討されたほうがいいと思います。やることはすごくいいことだと思います。

梶委員 立場上、入ることは全然やぶさかではありませんので、またそういう会を設けていただければ参加させていただきます。

西谷委員長 ありがとうございます。鴨志田委員と梶委員には、ご協力いただくことになるかと思いますが、私たちだけでなく、いろいろな団体の方とお話し合いをしながら、内容を詰めていくということで、このフォーラムを盛り上げていければと思っていますので、よろしく願いいたします。また何かご意見がありましたら伊藤委員、または企画課にお寄せいただければと思います。環境部会のほうでもう少し企画案を練っていくと思いますので、それにご意見を反映させていただきたいと思っています。

それでは、その次、「麻生区エコカルテ」の作成です。これは環境部会で、いかに区民にエコの問題を広めていくかということから始まりました。区民1人ずつに、生ご

みのリサイクル問題、環境家計簿のことなど環境問題に関心をもってもらうには、そして皆さんに浸透させるためには子どもを使うのが一番いいのではないかということから発しました。最初は映画をつくったらどうだろうとか、それから、パワーポイントでやってはどうだろうとか、いろいろな変遷がありました。その中で、子どもたちに使ってもらおうとなったら、小学校か中学校だろうとなり、やはり小学校の高学年ぐらいに絞るほうがということになりました。小学校高学年に絞りまして、先生方に少しご意見を伺わなくてはということで、環境関係なので、小学校で扱うとしたら理科か総合学習であろうということで、理科の研究会の会長をしておられる栗木台小学校の校長先生、それから、長沢小学校の総合学習の研究会の会長をされている校長先生、それから、すべての校長会の麻生区の会長である東柿生の校長先生と、3校長先生にご意見を伺かがいました。それから、教育センターの指導主事の総合学習のチーフである主事の先生にもご意見を伺ったりと、いろいろなご意見を伺いました。そのご意見を伺った結果、もしやるとしたら、先生方はお忙しいので、できるだけ必要な資料、特に麻生区の資料が欲しいということがありました。それに限定しまして、麻生区の中でエコの問題をデータとしていろいろな形で出せればということで、このような形になりました。これについては、企画課長のほうからご説明いただければと思いますが。

事務局 麻生区では、以前、麻生区の地区カルテというものを数年前につくっております。これには麻生区内のいろいろな情報が入っておりまして、地形だとか、緑の状況とか、農地の状況とか、あとは公共施設の状況とか、いろいろなデータが入っているのです。これは地区カルテになっているのですが、これの環境版のエコカルテをつくったらどうかということで話がまとまってきました。この間、小学校のほうに伺いまして、いろいろヒアリングをしたのですが、当初、区民会議のほうで総合学習のマニュアルをつくろうではないかという話があったのです。学校のほうに聞いたら、マニュアルについては先生がつくるのだと、区民会議の素人がつくっても、多分小学校のほうで使ってくれないよという話になりまして、じゃ、区民会議では、先生が一番必要としているデータを集めたほうがいいのではないかという話になりまして、こういった地区カルテというか、エコカルテのデータ集をつくろうかというふうに思っております。これをつくれれば、小学校のほうでもぜひ使いたいという話を言っていましたものですから、取組を進めていきたいなと思っております。時間的にも非常にせわしないスケジュールでやっていくのですが、6月からスタートしまして、実際作成するのは来年の1月で、2月の校長会にそのできたものを報告するという話になっていますので、非常に厳しいスケジュールなのですが、区民会議の委員さんで分担しながら、地域の情報を集めながら、データ集をつくっていきいたいなというふうに思っております。

西谷委員長 ありがとうございます。先日、校長会に説明に上がりまして、先生方にお話ししましたところ、賛成のご意見をいただきました。私たちが今まで、絵画展のときも年度末にもかかわらず協力していただきました。今の小学校の校長会は、非常に気持ちよく協力をしてくださるという感触を得ました。今までのデータがありますので、そのデータを引き出しながら、新しいデータを少し入れていければと思っています。特に地域のデータが不足すると思います。それも新しいデータが不足すると思いますので、区民会議の委員の皆さんにはまたお願いをすることがあるかと思いません。特に企業のデータがなかなかとれませんので。企業でもこの1、2年で、エコに対する関心が相当高まりまして、エコ活動をされていると聞いています。それなので、そのようなデータも入れていけるといいと思っています。特に麻生区にはマイコンシティがありますので。企業は特に環境に対しては前向きの姿勢を持っておられるかと思っています。そのようなデータも入れながら、または地域の中の情報がありましたら、それも入れて行ければと思っています。また調査をするところで区民会議の皆さんにはお願いすることがあると思いますので、よろしく願いいたします。

あと、このエコカルテについて何かご意見はございませんでしょうか。——それでは、ございませんようでしたら、環境部会の検討経過報告及び提案についてご承認いただけますでしょうか。

〔 拍手 〕

西谷委員長 ありがとうございます。

### 3 その他

#### (1) 第6回区民会議の開催日程について

西谷委員長 それでは、その他のところで、第6回区民会議の開催日程について、企画部会から説明をお願いいたします。

神本副委員長 それでは、企画部会からご提案いたします。

第6回区民会議の開催日程は、10月30日（金曜日）午後3時より、区役所4階の第1会議室において行いたいと思います。皆様、よろしく願いいたします。

西谷委員長 今ご提案がありましたように、第6回区民会議の開催日程は、10月30日（金曜日）午後3時、4階の第1会議室ということですが、いかがでしょうか。よろしいですか。——それでは、決定いたしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、最後に何か審議、検討を要するご提案がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 環境ミーティングのチラシをお配りしました。環境局のほうから、ぜひこれを配ってPRをしてくれということで、きょう言われてお配りしました。昨年も環境ミー

ティングをやったのですけれども、ことしも市内3カ所で行うそうです。麻生区については、7月4日（土曜日）になります。時間が15時から17時で、新百合21ホールで行いますので、できれば区民会議の方もご都合をつけてご参加いただければと思っております。

なお、プログラムについては、裏のページに書いてありまして、市長の報告だとか、パネルディスカッションがあつて、末吉さんだとか、上智大学の先生だとか、あと企業のほうからも出席をいただいて、パネルディスカッション等を行うそうです。

これに関連して、伊藤さんのグループも報告するそうなので。

伊藤委員 今、課長のほうからお話がありましたが、このミーティングには、末吉竹二郎さんという、国連の環境問題に詳しい金融関係をやっておられる方が今回参加されるということで、今、これに関連しまして、「おひさまだより」というオレンジ色のお手元にお配りしてありますが、この1ページに、末吉竹二郎さん、ことし2月28日、ここの第1会議室で「温暖化が変える私たちの生活」ということで、お話を伺ったのです。これはこの屋上に太陽光発電設備を設置した記念講演会、6周年になるのです。それで、お話を伺いました。これは5月の連休のときに、「テレビフォーラムかながわ」というのですか、ケーブルテレビで放映されましたが、この方も来ますので、これをぜひご参考に読んでいただいた上で、参加されればいいかなと。「おひさまだより」というのは、麻生区資源エネルギー実行委員会で行っておりまして、私と天野さんがこれに参加して取り組んでおります。そういう関係もありまして、この環境ミーティングの7月4日の午前中に、新百合の南口で、前座と言つては変ですが、「おひさまと遊ぼう」というイベントをやろうということなのですね。イトーヨーカ堂の前のちょっと広いところがありますが、ここで、去年も環境ミーティングをやったんですが、午前11時から1時ぐらいの間ですね。天野さんが実行委員をやられていますので、そういうことを計画しております。ぜひ参加いただければというふうに思います。

西谷委員長 ありがとうございます。7月4日、ぜひ多くの方々にご参加いただければと思っておりますので、お誘い合わせの上、ご参加いただきたいと思っております。

天野委員 1点提案というか、お願いさせていただきたいのですが、きょう雨が降ってまして、区役所の入口から傘を持って入りましたら、傘袋を用意してくださっていて、私の一歩前を根占さんが通られて、袋を私の分も、はい、どうぞと親切に下さったのですけれども、私はいつも、みんなが使い終わったところからとるんですと言つて、決して新しいのはとりませんと言つたらば、ああ、そういう考えもあるんですねとおっしゃってくださって、そうだ、これはみんなに、よろしかったら、ここからもいかがですかというようなことを、ちょっとかわいいプレートでもつくつたら、置いていただけますでしょうかというお願いなのですが。入口2カ所にプレートをかけさ

せていただければ、つくってみようかなとふと思ったのですが。市民館とか、区役所とか、たくさん使うと思うんですね。そして、レジ袋削減を環境部会で取り組みたかったのですが、先に地産地消のほうをやっておりまして、なかなかレジ袋には至らないので、せめて傘袋とか、気がついたところから1つずつ、私たちは封筒も再利用していますし、いかがかと思ったのですが。

西谷委員長 ありがとうございます。身近なところからエコ活動ということで、皆様方がおひとりずつ気をかけておられたらと思っています。

あとよろしいですか。

事務局 6月6日（土曜日）なのですけれども、万福寺の里山公園で植樹祭が行われます。時間は午前10時から12時まで予定されていますので、もしご都合のつく方はご参加いただければと思います。市長も来て植樹をするそうです。

西谷委員長 印刷物か何かあるのですか。もしあれだったら、4日のレストランあさおのときにあれば、集合場所ですとか、時間とか、いただければと思います。

## （2）参事助言

西谷委員長 それでは、ほかになければ、本日の議事は終了となりますけれども、参与の皆様からご助言をいただきたいと思っています。

山崎参与、よろしく。

山崎参与 皆様、長時間にわたりまして、お疲れさまでございました。第5回の区民会議ということで、年度新たに区役所のほうも、ご承知のとおり、区長さんを初め、新しい体制で臨ませていただくということで、今年度も実り大きい会議となりますようにまずご祈念を申し上げたいと思います。また、議事の内容も、とりわけ環境部会のほうなんかもお話を聞かせてもらいましたけれども、家計簿とか、エコカルテとか、地産地消フォーラム、レストランあさおのご協力をいただいて、地産地消の試食会まで予定しているということで、私なんかは食べるのが好きなものですから、ぜひ寄らせてもらいたいなと思っているのですが、今、議会の準備の時期なものですから、伊藤議員ともどもに忙しいのではないかと思いますけれども、また食育の日、19日前後で今後やっていくということなので、またその辺でぜひとも試食をさせてもらいたいなというふうに思っております。

以上です。どうもお疲れさまでございました。

西谷委員長 ありがとうございます。

伊藤参与、お願いします。

伊藤参与 皆様、長時間お疲れさまでございました。おくれてきまして、すみません。途中からですけれども、地域交流部会の検討経過、それから、環境部会の検討経過と聞かせていただきまして、徐々に皆様の取組がどんどん具体化してきて、私なんぞがあ

れこれ助言をすることができないぐらいの具体的なことがどんどん進んできたのかなと思っています。皆様の取組がこのまま私たちも応援できることは応援させていただきまして、実を結んでいけたらなと思います。

最後に、できることからやるという、地球温暖化対策ということで、私も次からは傘袋は古いものを使おうかなと思います。どうもお疲れさまでした。

西谷委員長 ありがとうございます。

勝又参与、せっかくいらしたから。議事には参加できなくても、一言。

勝又参与 おくれてこんな時間になりました。6月議会の準備でというのは皆さん議員は同じなので、言いわけになりませんけれども、遅くなって申しわけありません。この後の懇親会のほうでお世話になります。よろしく願います。

西谷委員長 ありがとうございます。

それと、板橋副区長がいらしたので、先ほどごあいさついただいたので、よろしく願います。

副区長 ほかの任務がございましたので、大変おくれて申しわけございませんでした。

3月まで地域振興課長をやっておりましたので、この会議には何度か参加させていただきました。また、立場が違った上で、副区長ということで、区民会議に参加させていただきたいと思っております。よろしく願います。

先ほど6月6日、チラシができているということで、お渡しをしていると思うのですが、植樹だけではなくて、違う立場でお話をしますと、このときにフロンターレグッズが当たるような抽せん会とか、今入ってきた情報だと、市民名誉大使になっている、雨谷麻世さんという女性のオペラ歌手がいるのですが、その方が来て、1曲2曲歌っていただけるという話も来ています。植樹だけではございませんので、ぜひ楽しみに来ていただきたいと思います。よろしく願います。

#### 4 閉会

西谷委員長 ありがとうございます。ぜひ皆様もご参加いただければと思います。

それでは、長時間にわたるご審議ありがとうございました。また、議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。

これで第5回麻生区区民会議を閉会させていただきます。(拍手)

午後4時56分閉会